

< あなたの治療について >

泌尿器 - EV/Pembro- 尿路上皮 - q3w

今回の治療は、EV/Pembro という治療法で、パドセブ（EV）とキイトルーダ（Pembro）という2種類の注射薬を併用して行います。パドセブとキイトルーダは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。2つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

◎ 治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1、8日目に点滴を行います。この治療を3週間（21日間）ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎ 1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2～7日目	8日目	9～21日目
①	デキサート (吐き気止め)	点滴 約15分		お休み		お休み
②	パドセブ (抗がん剤) 1.25mg/kg	点滴 約30分				
③	生理食塩液 (電解質)	点滴 初回約30分 2回目から約15分			お休み	
④	キイトルーダ (抗がん剤) 200mg/body	点滴 約30分				

★ 点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなつてはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

◎起こりやすい副作用について（頻度 20%以上）

パドセブ・キイトルーダによる

●悪心、食欲減退、味覚不全 ●下痢 ●疲労 ●末梢性ニューロパチー ●そう痒症 ●脱毛症

◎特徴的な副作用について

パドセブにおける

●末梢性ニューロパチー

「手足のしびれ、痛み、力が入らない、筋萎縮、手足のふるえ」などの症状

●重度の皮膚障害

「中毒性表皮壊死融解症（TEN）」「皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ」などの症状

「皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）」「発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する」などの症状

●高血糖

「体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える」などの症状

●腎機能障害

「尿量が減る、むくみ、体がだるい」などの症状

●間質性肺炎

「咳、息切れ、息苦しい、発熱」などの症状

キイトルーダにおける

*** 免疫チェックポイント阻害剤における副作用は、別添の資料を参照して下さい。**

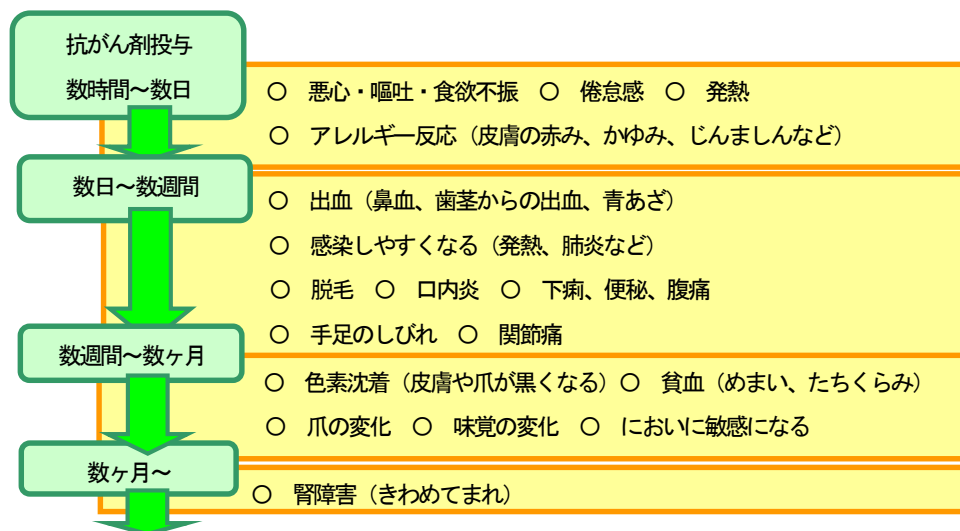
*** 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

◎副作用の発現時期の目安

* この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）
まれな副作用ですが、このような症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【パドセフ】

- 〔重度の皮膚障害〕皮膚が広い範囲で赤くなり破れやすい水ぶくれが多発する、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
- 〔高血糖〕体重が減る、水を多く飲む、尿量が増える
- 〔末梢性ニューロパチー〕手足のしびれ、痛み、筋肉に力が入らない
- 〔骨髄抑制〕貧血、寒気、出血が止まりにくい
- 〔感染症〕発熱、咳や痰がでる、息苦しい
- 〔腎機能障害〕尿量が減る、むくみ、体がだるい
- 〔間質性肺疾患〕咳、息切れ、息苦しい

【キイトルーダ】

- 〔間質性肺疾患〕発熱、から咳、息苦しい
- 〔大腸炎、小腸炎、重度の下痢〕嘔吐（おうと）、腹痛、下痢、泥状の便
- 〔中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑〕まぶたや眼の充血、唇や口内のただれ、発疹、みずぶくれ、発熱
- 〔類天疱瘡〕かゆみの激しい水疱
- 〔神経障害〕運動のまひ、手足のしびれ、指先のしびれ、歩行困難
- 〔劇症肝炎、肝不全、肝機能障害、肝炎、硬化性胆管炎〕食欲不振、吐き気、嘔吐、からだのだるい、白目や皮膚が黄色くなる、かゆみ、発熱、右上腹部の痛み
- 〔甲状腺機能障害〕汗をかきやすい、胸がドキドキする、からだのだるい、寒がりになる
- 〔下垂体機能障害〕からだのだるい、頭がぼーっとしたり意識がなくなったりする、血圧低下
- 〔副腎機能障害〕からだのだるい、意識がうすれる、低血圧
- 〔1型糖尿病〕からだのだるい、のどの渇き、尿の量が増える、意識の低下
- 〔腎障害〕むくみ、頭痛、尿量が減る
- 〔膵炎〕吐き気、嘔吐、胃・おなかの激しい痛み、背中での痛み
- 〔筋炎、横紋筋融解症〕脱力感、筋肉の痛み、息苦しい、赤褐色尿
- 〔重症筋無力症〕まぶたが重い、上まぶたが下がる、物がだぶって見える、筋肉の疲労感
- 〔心筋炎〕からだのだるい、発熱、吐き気、息苦しい
- 〔脳炎、髄膜炎〕発熱、頭痛、意識の低下
- 〔重篤な血液障害〕貧血症状、発熱、出血傾向
- 〔血球貪食症候群〕発熱、左上腹部の圧迫感や痛み、リンパ節のはれ
- 〔結核〕長引く微熱・咳、からだのだるい、体重減少
- 〔インフュージョン・リアクション〕呼吸困難、意識障害、まぶた・唇・舌のはれ
- 〔ぶどう膜炎〕目のかすみ、視力の低下、蚊が眼の前を飛んでいるように見える、まぶしい、眼の痛み、眼の充血

◎上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。